



武雄市市制施行10周年記念誌

発行日／2016年3月

発行・編集／武雄市

印刷／飯盛印刷紙工株式会社



もっと輝くまちへ!

新武雄誕生10周年

TAKEO CITY 10th ANNIVERSARY

武雄市市制施行10周年記念誌



黒髪山県立自然公園



武雄温泉楼門



武雄の大楠



きたがた四季の丘公園



かがやく未来、もっと輝く武雄市へ

平成18年3月1日に武雄市・山内町・北方町の3つの市町が合併し、新武雄市が誕生して10周年を迎えました。

10年の間、市民一丸で取り組んだテレビドラマ誘致、市民病院経営改革、武雄市図書館リニューアル、武雄温泉新館・楼門100周年記念事業、官民一体型学校開校など、新市となっても「住んでいて良かった、住みたいまち」となるよう、市民の暮らしに直結した事業を、より良い未来を思い描きながら邁進してまいりました。その結果、「2016年住みたい田舎ベストランキング」で全国3位になるなど、市外からも多くの方に注目いただいていることは、市民ならびに市に関わる皆様のご協力の賜物であり、ここに御礼申し上げます。

今日の節目はこれまでの軌跡を振り返るとともに、武雄市の未来に向けた出発点でもあります。今後は、新庁舎建設、九州新幹線西九州ルートの開業、ワンランク上の子育て・教育環境の整備など「もっと輝く武雄市」を未来の皆さんに届けていけるよう全力で取り組んでまいります。

市民の皆様には、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

武雄市長 小松 政

さらなる市民福祉の向上を目指して

この度、武雄市・山内町・北方町が合併し、10周年を迎えました事に対して、心よりのお慶びを申し上げます。

思い返せば、この一市二町の合併に至るまでも様々な動きがありましたが、規模や地理的なことを考えても理想の形での合併になったのではないかと考えております。ここに至るまでは、各々の首長、議員はもとより多くの関係者の方々のご尽力、ご協力あつてのもの感謝するところであります。

合併後は、新武雄市として、様々な政策や取り組みがなされ、その結果が、人口約5万人の市が、全国的にも活力ある市として、大変注目を浴び、行政視察などで訪れる方も増加の一途をたどっています。

議会としましても、議員一丸となり、様々な議案や課題について審議をし、市政発展のために鋭意努力をしているところでありますが、このような中であつて、武雄市の更なる発展を期していくためにも、10周年を契機として、なお一層市民ニーズを的確に把握し、住民福祉の向上と新しい時代の要請に応えるべく、ますます努力をして参りますので、今後も市議会への関心をもって見ていただき、ご協力をお願い申し上げます。

武雄市議会議長 杉原 豊喜



新「武雄市」誕生
未来に向けてスタート!



●3月 新「武雄市」誕生
旧武雄市・山内町・北方町の1市2町が合併し、新「武雄市」が発足。市役所にて開庁式が行われた。



●4月 初代市長に樋渡啓祐氏
全国最年少(当時)で、樋渡啓祐氏が初代市長に就任。ぬくもりのある元気な新「武雄市」を皆さんとともに創りたいと抱負を語った。また初代議長には、杉原豊喜氏が就任した。

●8月 テレビドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」のメインロケ地に決定
市役所では「佐賀のがばいばあちゃん課」を設置。多数の市民がエキストラやボランティアで活躍した。(市内視聴率88.3% 佐賀のがばいばあちゃん課調べ)



●10月 ドリームフェスタ武雄を開催
新「武雄市」誕生イベント「ドリームフェスタ武雄」を開催。高校生の実行委員会を中心に小学生の作品展示、中学生の荒踊り、高校生の演劇などが披露された。

●その他の出来事

- 5月 佐賀県内で初めて2人副市長体制がスタート
- 6月 2006FIFAワールドカップ パブリックビューイングin武雄競輪場を開催
- 9月 武雄温泉化粧水「ゆほほ」が発売
- 11~12月 第1回「がばい武雄の物産まつり」を開催
- 12月 「若楠ポーク」が全国ブランドとして商標登録を取得

元祖 最年長アイドル
武雄のがばいばあちゃん「GABBA」活躍



●1月 GABBA結成
平均年齢73.8歳7名の元気なおばあちゃんユニット「GABBA(がば)」が結成され、後にCDも発売された。

●5月 レモングラスの試験栽培がスタート
中山間地域の耕作放棄地を活用した新たな特産品の開発のため試験栽培が始まった。



●5月 子育て総合支援センター開所
子育てに関するあらゆる支援を行い、子育てしやすい環境づくりのサポートを行うため、子育て総合支援センターがオープン。



●9月 中島宏氏が人間国宝に認定
中島宏氏が重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定され、合併後初の武雄市名誉市民となられた。

●11月 TAIZO+TAKEO展の開催
武雄市出身の報道カメラマンノ瀬泰造氏の生誕60周年を記念して、TAIZO+TAKEO展を開催した。



●その他の出来事

- 4月 武雄温泉楼門朝市がスタート
- 4月 山内支所に障がい者交流の拠点となる共生ふれあいセンターを開所
- 4月 「営業部」「こども部」を市役所に設置
- 5月 武雄市フットサル宣言
- 7~8月 2007青春・佐賀総体が開催され、武雄市ではバドミントン・自転車競技を開催
- 12月 新市の市花を「ツツジ」、市木を「クスノキ」に決定



●2月 武雄温泉駅開業
40年来待ち望んでいたJR佐世保線の高架切替事業の完了とともに武雄温泉駅が開業した。東京駅をイメージしたレンガ調の落ち着いた外観となった。

●4月 九州新幹線西九州ルート着工
九州新幹線西九州ルート武雄温泉・諫早間建設工事起工式が、国土交通大臣をはじめ約500人が出席する中で開催された。



●7月 武雄市民病院の移譲に関する基本協定を締結
医療法人財団池友会と武雄市民病院の移譲に関する基本協定を締結した。この基本協定の締結に基づき、医療法人財団池友会から医師の派遣を受け、4月に休止していた救急医療を再開できることとなった。



●11月 樋渡市長辞職
武雄市民病院の民間委譲を巡り、市長を辞職し、12月に再選した。

●その他の出来事

- 2月 飛龍窯を修復し、2年ぶりに「TAKEO・世界一飛龍窯灯ろう祭り」を開催
- 2月 九州新幹線西九州ルートの沿線にあたる佐賀・長崎両県の五市による「新幹線五市サミット」を開催
- 11月 「篤姫展」を開催



●2月 武雄地域食肉加工センター完成
農産物の被害防止として捕獲したイノシシを新たな特産品として活用するため、武雄地域鳥獣加工処理センター「やまんくじら」がオープンした。



●3月 ニューおしくらマン誕生
武雄市が生んだゆるキャラ「おしくらマン」がパワーアップしてリニューアル。全日本美味暮まんじゅう選手権大会や、市内のイベントで活躍。



●3月 武雄青陵高校で閉校式
県立高校再編で、武雄高校と統合する武雄青陵高校で閉校式が行われた。1982年開校から27年、卒業生や歴代校長、教職員ら約900人が出席し別れを惜しんだ。



●4月 「いのしし課」発足
イノシシによる農作物への被害対策と猪肉の特産品化を一本化した「いのしし課」を市役所に設置し、全国で話題となった。



●4月 武雄市商工会が発足
北方町商工会と山内町商工会が合併し、「武雄市商工会」が発足した。

●その他の出来事

- 1月 武雄市長杯ファミリーフットサル交流会を開催
- 4~5月 テレビドラマ「佐賀のがばいばあちゃん2」ロケ
- 7月 中国・九州北部豪雨で床上浸水59戸、床下浸水216戸
- 8月 たけおのこども議会を開催
- 11月 がん撲滅推進市民大会を開催
- 12月 全国夫婦岩サミットを開催



2月 重要無形民俗文化財 武雄の荒踊 全国の舞台へ
東京のNHKホールで開かれた「第10回地域伝統芸能まつり」に、武雄の荒踊が出演した。



●6月 みんなで応援
武雄競輪場で、2010FIFAワールド
カップ日本VSオランダのパブリッ
クビューイングが行われた。



●9月 新たな組織新設
男女の仲を取り持つ「お結び課」とがん検診
を推奨する「がん検診率向上課」を市役所に
設置し話題となった。



●12月 教育へICTの利活用
山内東小学校へ40台のiPadを配布し、日本の
公立小学校で初めて本格的に授業を行った。



●11月 九州初「はやぶさ」帰還カプセル公開
小惑星イトカワから微粒子を持ち帰った探査機「はやぶさ」の
カプセルが佐賀県立宇宙科学館で一般公開された。

●その他の出来事

- 1月 武雄市民病院閉院
- 2月 旧武雄邑主鍋島氏別邸庭園(御船山楽園)が国登録記念物へ登録
- 4月 樋渡市政2期目スタート
- 4月 老人福祉センター「さざんか荘」がオープン
- 10月 上海万博に「GABBA」が出演

●6月 新武雄病院開院
武雄市民病院の民間移譲にともない、24
時間365日対応の救命救急医療や高度
医療をおこなう新武雄病院が開院した。



●6月 闘将 佐々木昭彦選手引退
通算成績535勝、特別競輪(GI)3回優勝、記念
競輪(GIII)49回優勝の大スターが引退した。



●9月~10月
タウンサポート「チーム武雄」
東日本大震災の被災地復興を支援する
ため、岩手県陸前高田市でボランティア
活動を行った。



●10月 武雄北方インター工業団地
分譲開始
工業用地面積17.6haの武雄北方イン
ター工業団地の分譲を開始した。

●その他の出来事

- 3月 東日本大震災の発生にともない「被災者支援課」を市役所に設置
- 4月 武雄看護リハビリテーション学校開校
- 7月 株式会社富士精機製作所と進出協定締結
- 8月 武雄市公式ホームページをフェイスブックに完全移行
- 11月 通算614勝競輪界現役最年長の西村康博選手が引退



●2月 武雄の新名物誕生
武雄温泉駅カフェカイト堂が販売する「佐賀牛すき焼き弁当」が第8回九州駅弁グランプリ1位に輝いた。



●7月 東川登小学校タウンサポート
東日本大震災の被災地応援プロジェクトとして「キッズボランティア」を被災地宮城県仙台市へ派遣した。



●4月 フェイスブック・シティ課の新設
フェイスブックアカウントを市役所職員全員が取得。SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した情報発信の取り組みが全国の話題を集めた。



●7月 九州北部豪雨支援「チーム武雄」
九州北部豪雨災害による被災地支援として、熊本市に災害ボランティア「チーム武雄」を派遣した。



●9月 武雄工業団地が全区画完売
タケックス株式会社の進出によって、平成2年に分譲を開始したすべての区画が完売した。

●その他の出来事

- 2月 スマートフォン向け観光案内アプリ「たけなび」の配信開始
- 2月 九州オルレに武雄コースが認定
- 4月 東日本大震災の被災地岩手県陸前高田市へ職員派遣
- 6月 三京ステンレス鋼管株式会社と進出協定締結



●4月 武雄市図書館・歴史資料館がリニューアルオープン
民間のノウハウを活用した施設として全国から注目を集め、翌年5月には来館者100万人を達成した。



●4月 武雄若木太陽光発電所が発電開始
武雄市初のメガソーラー施設。年間で一般家庭300世帯分に相当する約98万キロワットを発電する。



●4月 武雄温泉楼門に子・卯・午・酉
武雄温泉楼門と東京駅の干支のレリーフの関連性が話題となった。



●7月 九州新幹線西九州ルート安全祈願祭
袴野橋りょう他工事安全祈願祭。着工認可以来、武雄市内初の工事着工となった。



●6月 後藤明子氏が内閣総理大臣表彰を受賞
佐賀県では13年ぶり2人目。長年にわたる男女共同参画社会推進への貢献が認められた。

●その他の出来事

- 3月 佐賀女子高校武雄校舎閉校
- 4月 みんなのバス運行開始
- 7月 中尾太三氏がBMX世界選手権大会に出場
- 8月 高円宮妃久子さまが武雄市図書館・歴史資料館にお成り
- 10月 株式会社コスモス薬品と進出協定締結
- 12月 九州西濃運輸株式会社と進出協定締結
- 12月 約30年ぶりに武雄温泉楼門の修復が行われた



●3月 Tポイントレディス ゴルフトーナメント
佐賀県内初となる女子プロゴルフツアー。
若木ゴルフ倶楽部で熱戦が繰り広げられた。



●4月 全国初 全児童へタブレット端末配布
家庭で動画を見ながら予習をし、学校で「話し合い」や「学び合い」を重視した授業を行うスマイル学習(武雄式反転授業)が5月から始まった。



●5月 第72期将棋名人戦 第3局
羽生善治三冠が森内俊之名人を破り
2日間の武雄対局を制した。



●8月 武雄鍋島家洋学関係資料 国の重要文化財指定
江戸時代後期の西洋科学技術の受容に関する資料2,224点が指定された。



●10月 プログラミング教育実証研究授業開始
株式会社ディ・エヌ・イーがソフトを開発し、東洋大学が効果を分析する産官学連携の実証研究を開始。山内西小学校1年生の児童がプログラミング教育にとりくんだ。

●その他の出来事

- 3月 市内公民館が完成
- 3月 株式会社サニックスと進出協定締結
- 4月 樋渡市政3期目スタート
- 7月 御宿 竹林亭がミシュランガイド福岡・佐賀2014特別版のホテル・旅館部門で最高評価を獲得



●1月 市長に小松政氏就任
1月11日に行われた武雄市長選挙で小松政氏が初当選し二代目市長となった。



●1月 大同メタルと進出協定
武雄北方インター工業団地に進出を決めた大同メタル工業株式会社と佐賀県、武雄市の三者で進出協定を締結した。



●4月 武雄温泉楼門 創建100周年
「日本近代建築の父」と呼ばれる建築家・辰野金吾氏の設計で知られる国の重要文化財武雄温泉楼門と新館が創建100周年を迎えた。



●4月 官民一体型学校が始動
民間学習塾「花まる学習会」と連携する官民一体型学校武雄花まる学園が開校し、公教育と民間のノウハウが融合する取組みが本格始動した。

●10月 教育大綱「組む」を発表
未来を担う全ての子どもを主人公に学校と家庭、地域の連携を基本理念とした。

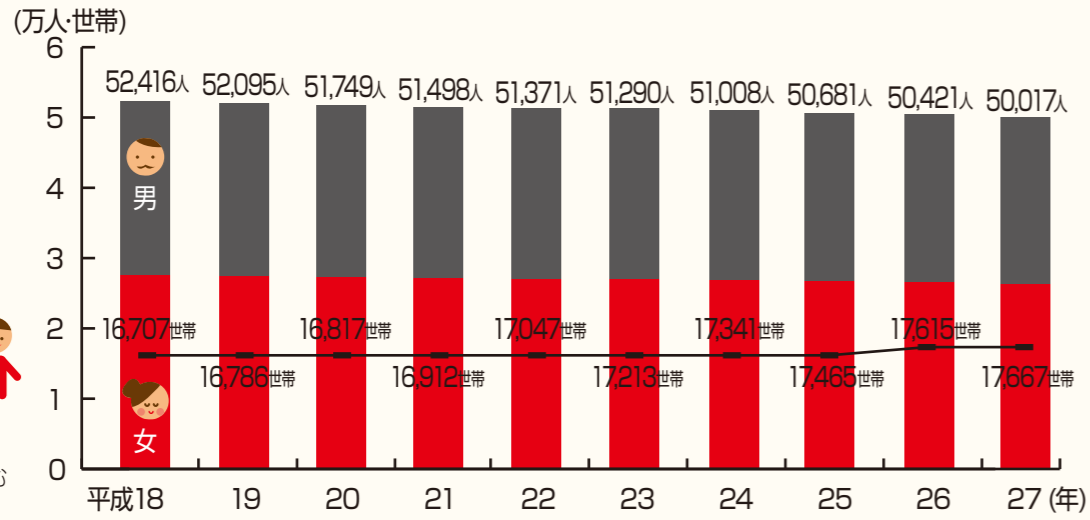


●その他の出来事

- 7月 佐賀県立宇宙科学館リニューアルオープン
- 9月 中学生が「いじめ追放宣言」発表
- 9月 日本ハードメタル株式会社進出により武雄北方インター工業団地売却
- 10月 学校法人 神村学園高等部 単位制・広域通信制普通科 武雄校舎を新設

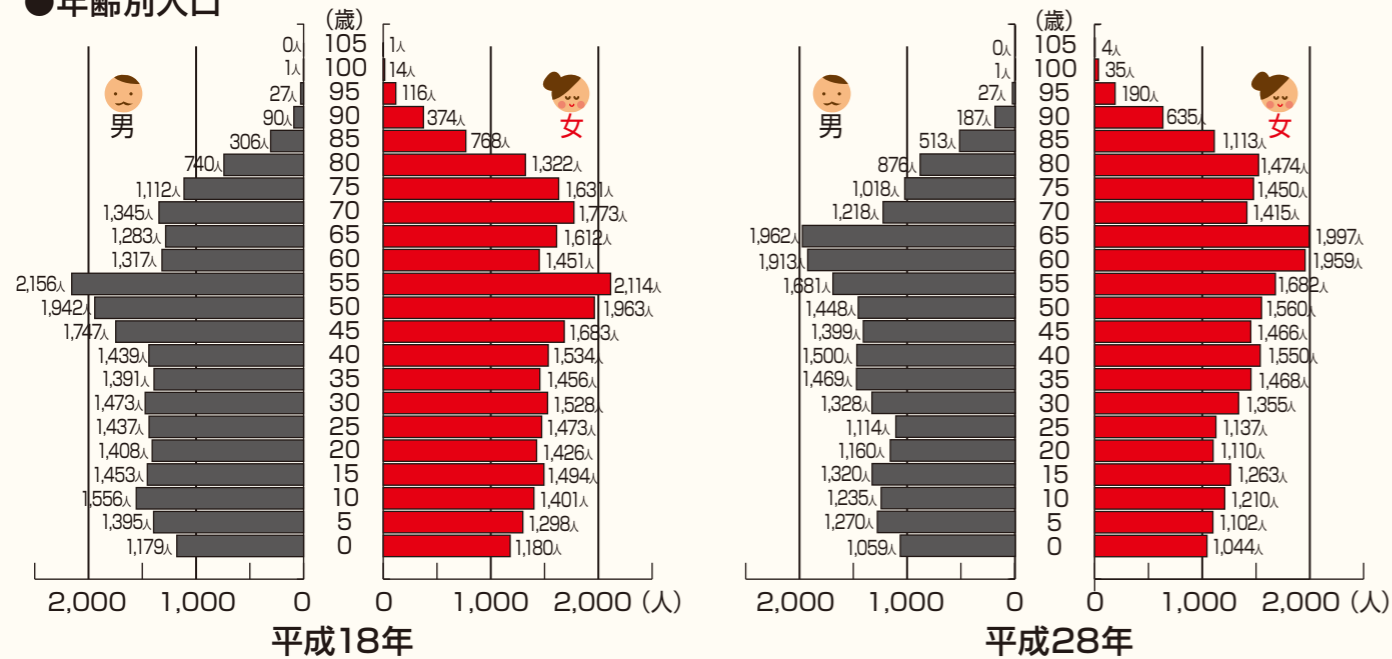
データで見る10年

●人口と世帯の推移

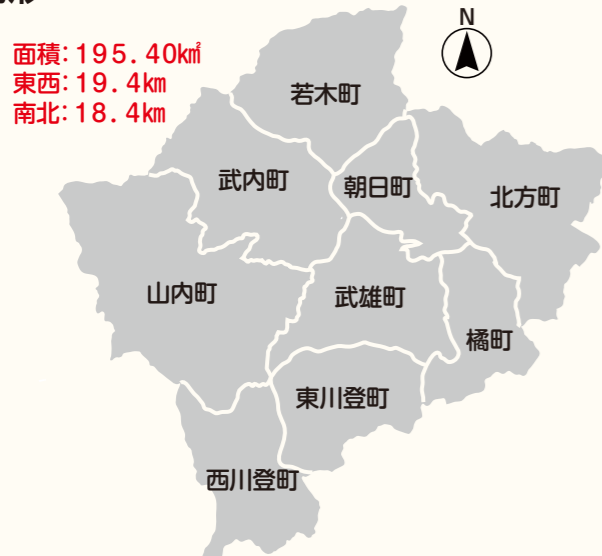


※各年3月末現在
資料:住民基本台帳
H26以降は外国人含む

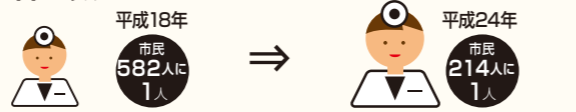
●年齢別人口



●地形



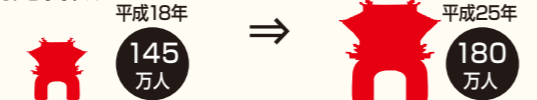
●医師の数



●図書館来館者数



●観光客数

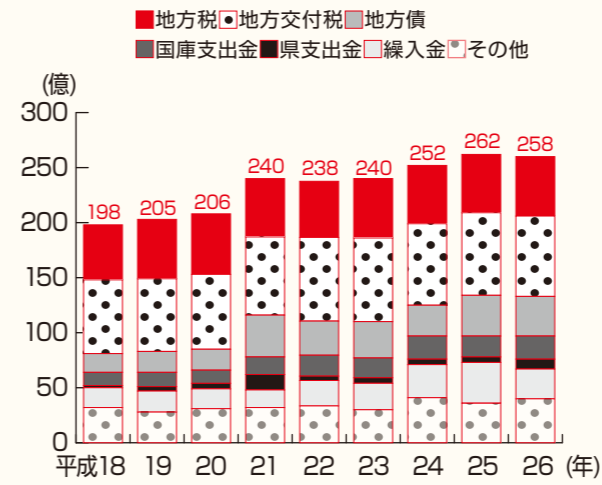


●火災発生状況

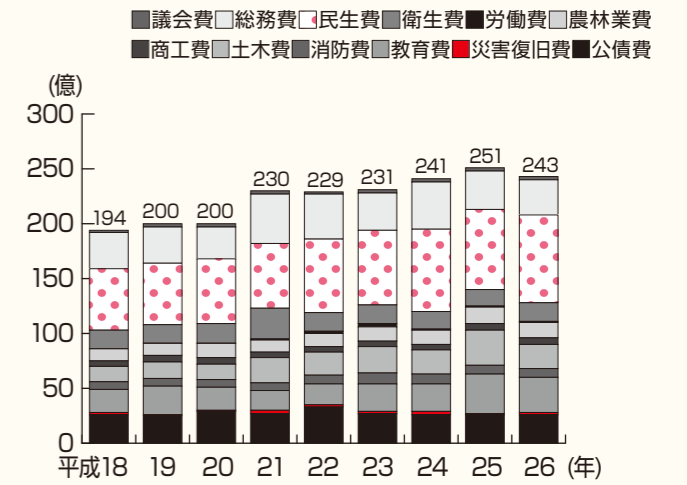


データで見る10年

●歳入



●歳出



●歴代市長

初代	樋渡 啓祐	平成18年4月16日～平成20年11月21日
		平成20年12月28日～平成22年4月15日
第2代	樋渡 啓祐	平成22年4月16日～平成26年4月15日
第3代	樋渡 啓祐	平成26年4月16日～平成26年12月3日
第4代	小松 政	平成27年1月11日～在任中

※永尾光義(平成18年3月1日～平成18年4月15日)市長職務執行者

●歴代議長

初代	杉原 豊喜	平成18年4月26日～平成22年4月15日
第2代	牟田 勝浩	平成22年4月23日～平成24年4月24日
第3代	杉原 豊喜	平成24年4月24日～平成26年4月15日
第4代	杉原 豊喜	平成26年4月21日～在任中

●歴代教育長

初代	庭木 信昌	平成18年3月1日～平成18年4月28日
第2代	庭木 信昌	平成18年4月29日～平成19年4月28日
第3代	浦郷 究	平成19年4月29日～平成23年4月28日
第4代	浦郷 究	平成23年4月29日～平成27年3月31日
第5代	浦郷 究	平成27年4月1日～在任中

●市の花 【ツツジ】

ツツジ科ツツジ属の植物で、赤やピンク、白など多彩な花色で庭を彩る春の代表的な花木。
市内各所で見うけられ、20万本のツツジで彩られる御船山楽園が有名。



●市の木 【クスノキ】

クスノキ科ニッケイ属の常緑高木で、市内の各地に植生している。
中でも「川古の大楠」と「塚崎の大楠」は市の天然記念物に指定されており、多くの人から親まれている。

